

EGOTAN通信

— 江古田小学校 研究だより —

令和元年7月5日
中野区立江古田小学校
研究推進委員会
第4号



EGOTAN

研究主題 認め合い、思いやりをもって生きる児童の育成
— 自他のよさを知ることを通して —



EGOTAN

第3回研究授業報告 ～6月26日(水)～

第4学年 総合的な学習の時間「高齢者の方と交流しよう」 授業者：天野 正子
講師：一般財団法人 教育調査研究所 研究部長 寺崎 千秋先生

【本時のねらい】

高齢者について学習を進めていくことを知り、高齢者に関心をもつとともに、今後の学習の見通しをもてるようにする。

【授業のポイント】

本時で学んだことを友愛ホームとの交流につなげるとともに、高齢者について、また高齢者の抱えている問題について知り、高齢者のために自分ができることを考え、高齢者の方の素敵なおところに気付いたり、高齢者への温かい気持ちをもったりする学習を目指しました。

【授業の様子】



【児童の発言から】

- ・100歳を過ぎてても医者として働いていてすごいなと思いました。
- ・高齢者になるとできていたことができなくなるのでつらいなと感じましたが、金さん銀さんみたいに元気な人もいるんだなと思いました。
- ・高齢者になると困ることが多くなると気付いて、困っていたら手助けをしたいと思いました。

【講師の寺崎先生より】

今回は、人権課題として高齢者を取り上げた内容でした。今回の授業は、高齢者への関心をもつという面でよかったのではないのでしょうか。相手の立場や事情を考え、自分事として考えることでより思いやりが生まれ、高齢者理解へとつながります。また、子どもによって高齢者の見方は違い、気付かないうちに偏見を持っている場合もあります。そういった見方を出し合ってみんなで考えていくことが総合的な学習の時間では大切です。

現在、高齢者だからという理由で差別を受けている現状があります。子どもの言動を取り上げながら課題について考えていくとよいです。

様々なご指導をいただきました。今回の研究授業を生かして、より一層、授業力向上に努めていきます。